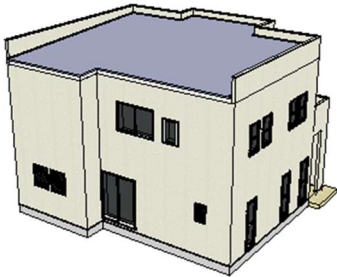


パラペット内側の片流れ屋根入力例



『パラペット内側の片流れ屋根』は、以下手順で入力します。（※本例は『トレーニングプラン』）

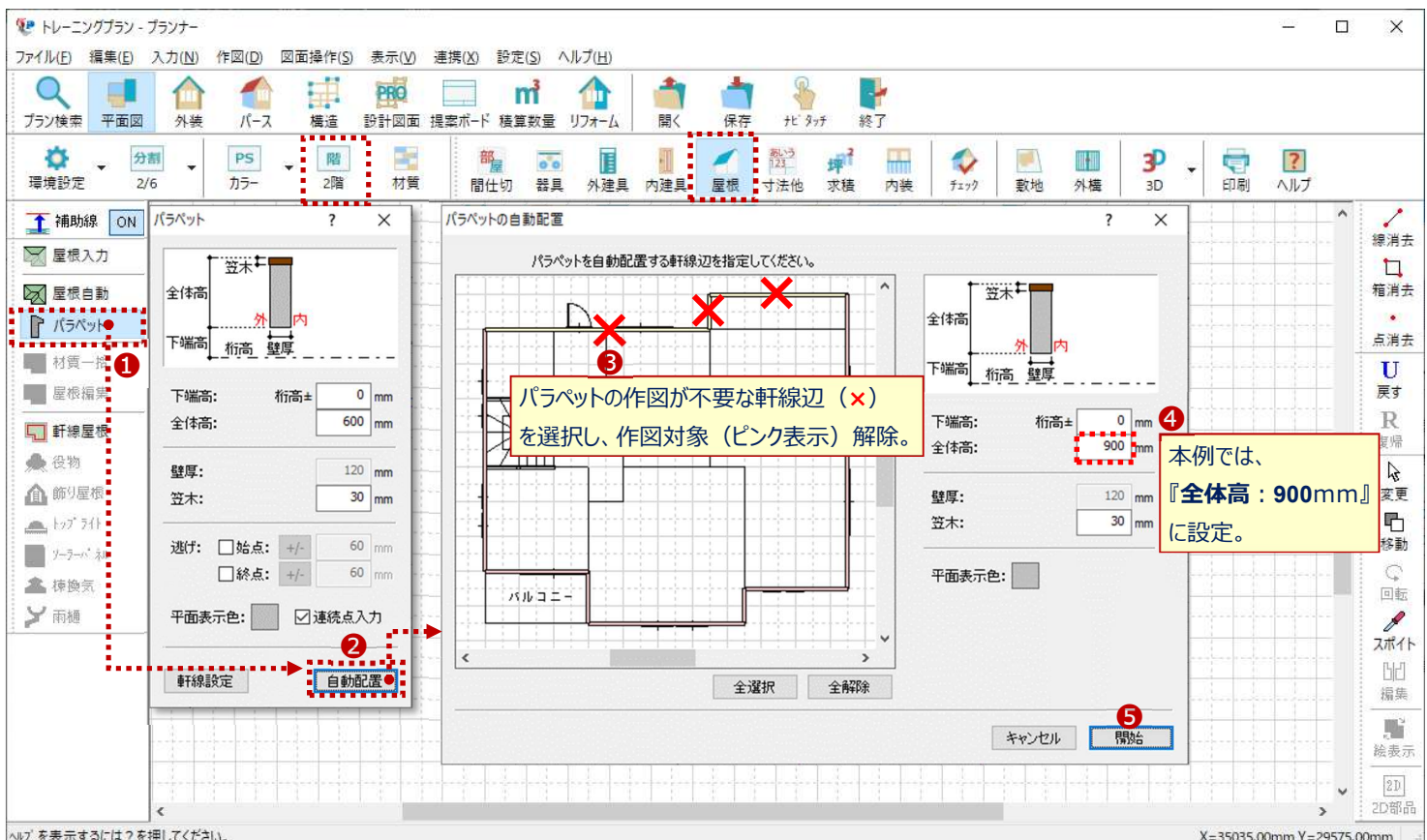
- 1) **パラペット入力** : パラペットを入力します。
- 2) **屋根自動** : 屋根自動で片流れの屋根を入力します。
- 3) **屋根編集** : 必要に応じ、屋根編集を行います。（軒先が一直線上ではない場合など・・・）

1) パラペット入力

パラペットを入力します。本例ではパラペットの『自動配置』を行います。（※連続点指定による任意入力も可能です。）

『パラペット自動配置』オペレーション

- 1 : 屋根入力画面で入力階（本例は**2階**）を表示し、左ツールバーの『**パラペット**』を選択します。
- 2 : 『**自動配置**』を選択します。
- 3 : 全軒線辺をパラペットの作図対象としてピンク色で初期選択表示しますので、
作図が不要な下図×の辺（軒先と袖）を選択して着色表示を解除します。（再選択で着色）
- 4 : 自動配置設定を確認変更します。本例は『**全体高 : 900mm**』
- 5 : 『**開始**』を選択し、パラペットを自動配置します。 ※自動配置後の全体高変更も可能です。

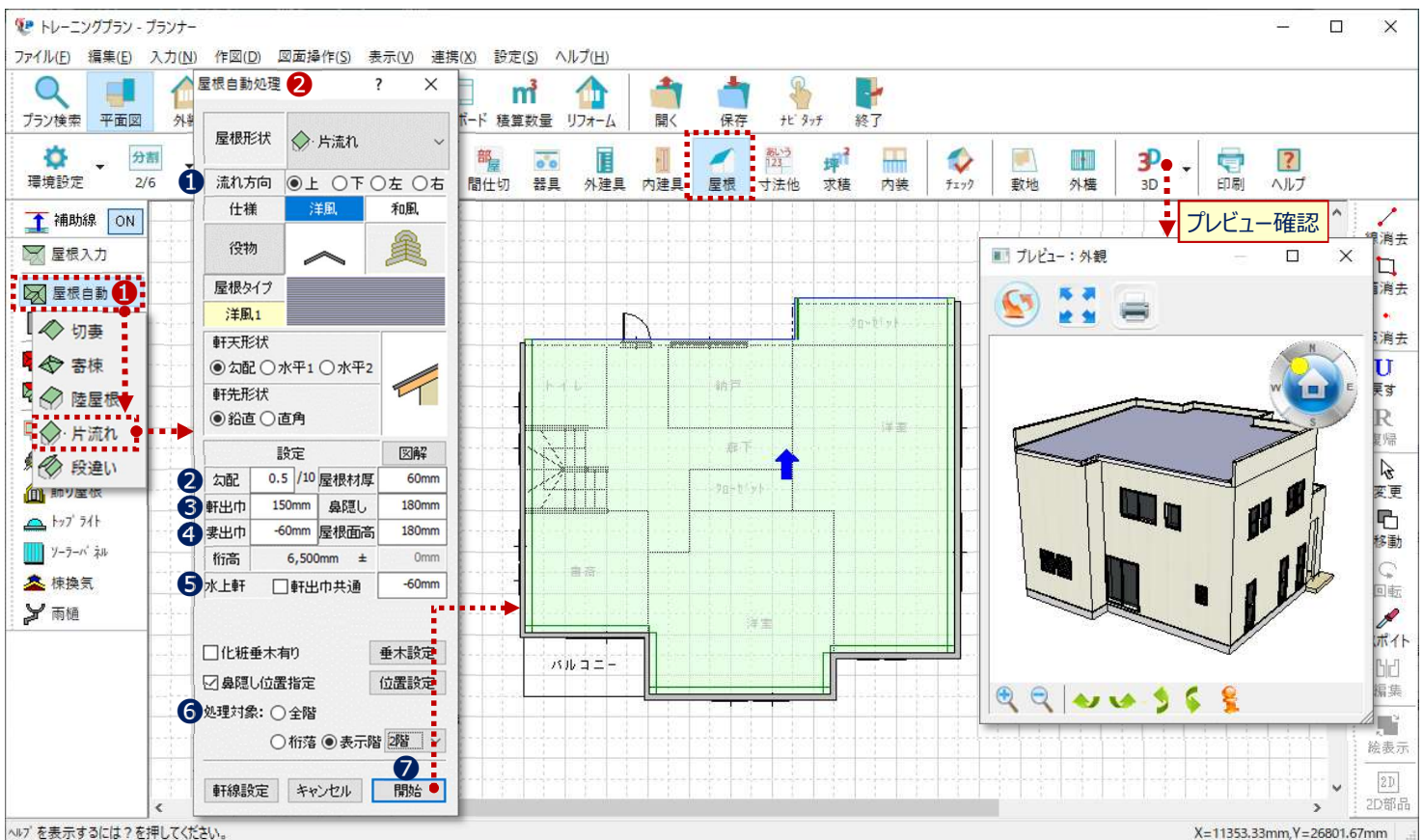


2) 屋根自動

屋根自動で片流れの屋根を入力します。

『片流れ』屋根の『自動処理』オペレーション

- ①：屋根入力画面左ツールバーで『屋根自動』⇒『片流れ』を選択します。
- ②：『片流れ』の『屋根自動処理』設定で以下①～⑥の項目を含む全設定を確認変更後、⑦『開始』を選択します。
 - ①：流れ方向：流れ方向を選択します。本例は『上』
 - ②：勾配：勾配を設定します。本例は『0.5 / 10』
 - ③：軒出巾：軒桁芯からの軒先の出巾を設定します。本例は『150 mm』
 - ④：妻出巾：建物外周壁芯からの妻側の軒出巾を設定します。本例はパラペット内側なので壁厚 120mm の 1/2 で『-60 mm』
 - ⑤：水上軒：建物外周壁芯からの水上側の軒出巾を設定します。本例はパラペット内側なので『軒出巾共通』チェック OFF で『-60 mm』
 - ⑥：処理対象：自動処理対象の階を選択します。本例は『表示階 ⇒ 2 階』
- ⑦：開始：設定内容で自動処理を開始します。



3) -2 領域プラス

『領域プラス』を利用して、屋根面の領域を広げます。

『領域プラス』オペレーション

- ①：屋根入力画面左ツールバーの『屋根編集』を選択します。
- ②：『領域プラス』⇒『矩形』を選択します。
- ③：領域を広げる編集対象屋根面を選択し、ピンク色の面で表示します。
- ④：広げる領域の1点目を入力済の屋根辺上で指定し、
2点目を対角線上の外周で指定すると指定領域分だけ屋根面が広がります。

